

リンドウにおける株養成効果の高いジベレリン処理方法

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

花き - リンドウ - 生理・生態、生育調節
分類コード 05-25-04160000

2 担当者

矢島豊・水野由美子・大竹真紀・山口繁雄

3 要旨

リンドウの春植え作型におけるジベレリン処理は、従来の定植直前処理に比べて定植約30日後処理の方が株養成効果が高い。

- (1) 定植年の越冬芽形成数は、品種間差はあるものの、定植直前処理と比較して平均23%程度増加する。
- (2) 定植年の越冬芽径は、品種間差はあるものの、定植直前処理と比較して平均15%程度大きくなり、揃いも良くなる。
- (3) 効果を確認した品種は、「ふくしまみやび」、「ふくしましおん」、「尾瀬の夢」(極早生、早生)、「尾瀬の輝」、「尾瀬の愛」、「尾瀬の青華」の6品種である。
- (4) 抽だい率は、品種や環境等の条件によって変動するが、株養成効果は安定している。

4 その他の資料等

- (1) 平成15年度近畿中国四国農業研究成果情報